

※ 在宅当番医は変更が多々ありますので、当日の新聞（筑豊版）でご確認ください。

【総合体育館開催】★ウォーキング教室（9:30～11:00）★健康体操教室（14:00～15:30）★エアロダンス教室（17:50～19:20）

6月

- 1 (金) ★エアロダンス教室
- 3 (日) 【当番医】大村内科医院
☎ 65・0016（桂川町土師）
第17回桂川町ゲートボール大会
8:30～（受付）全天候型ゲートボール場
- 4 (月) 母子健康手帳発行とお話
10:30～11:30 総合福祉センター
- 5 (火) ★ウォーキング教室
- 7 (木) ★健康体操教室
- 8 (金) ★エアロダンス教室
- 10 (日) 【当番医】青柳医院
☎ 65・0013（桂川町土師）
- 12 (火) 健康相談
13:30～14:30 総合福祉センター
★ウォーキング教室
- 13 (水) 業者による補聴器定期相談
13:00～14:00 総合福祉センター
- 14 (木) 心配ごと相談
13:00～16:00 総合福祉センター
★健康体操教室
- 15 (金) ★エアロダンス教室
- 16 (土) わくわくスポーツ体験塾
9:30～11:30 桂川小学校体育館
- 17 (日) 【当番医】あそう内科クリニック
☎ 29・1666（飯塚市楽市）
第36回分館対抗バレーボール大会
8:30～ 総合体育館、桂川中学校体育館

- 19 (火) ★ウォーキング教室
- 21 (木) ★健康体操教室
- 22 (金) ★エアロダンス教室
- 23 (土) ふるさと講座「コダイム蓄音機コンサートⅤ」
～蓄音機が奏でる昭和の響き～ 講師：植木彪氏
13:30～15:30 コダイム王塚
- 24 (日) 【当番医】塚本クリニック
☎ 72・4388（飯塚市平塚）
- 25 (月) 大腸ガン検診容器配布、マンモグラフィ・
前立腺ガン申込開始日
9:00～16:00 総合福祉センター
ピョピョ教室
10:30～11:30 総合福祉センター
- 26 (火) ★ウォーキング教室
- 27 (水) わんぱく教室（あそび）
10:30～11:30 総合福祉センター
- 28 (木) 心配ごと相談
13:00～16:00 総合福祉センター
★健康体操教室
- 29 (金) 大腸ガン検診容器配布、マンモグラフィ・
前立腺ガン申込締切日
9:00～16:00 総合福祉センター
乳児健診（受付は対象月齢によって異なります）
総合福祉センター
ブックスタート・フォローアップブック
スタート（町立図書館主催事業）
上記乳児健診時に読み聞かせし、絵本2冊を配布
★エアロダンス教室

7月

- 1 (日) 【当番医】上村皮ふ科・形成外科
☎ 22・2973（飯塚市忠隈）
市民講座「人権講演会」
9:30～（受付）住民センター
- 3 (火) ★ウォーキング教室
- 4 (水) わんぱく教室（あそび）
10:30～11:30 総合福祉センター
- 5 (木) ★健康体操教室
- 6 (金) ★エアロダンス教室
- 8 (日) 【当番医】徳永眼科医院
☎ 25・0011（飯塚市楽市）
- 9 (月) 母子健康手帳発行とお話
10:30～11:30 総合福祉センター
- 10 (火) 健康相談
13:30～14:30 総合福祉センター
★ウォーキング教室
- 11 (水) 業者による補聴器定期相談
13:00～14:00 総合福祉センター
- 12 (木) 胃・大腸・肺・前立腺・子宮・乳ガン検診
8:30～11:00 総合福祉センター
心配ごと相談
13:00～16:00 総合福祉センター
★健康体操教室
- 13 (金) ★エアロダンス教室
- 14 (土) わくわくスポーツ体験塾
9:30～11:30 桂川小学校体育館
- 15 (日) 【当番医】なかおクリニック
☎ 21・5755（飯塚市堀池）

▽軍艦島のこと 5月の連休、息子が長崎市に転動したこともあって、以前から一度行きたいと思っていた軍艦島（端島）に行ってきました。

軍艦島は通称で、遠くから見ると一隻の軍艦が浮いているように見えます。長さは約480m、幅は約160mで、炭鉱施設や高層住宅がピッシリ建ち並んでいます。その歴史は、石炭とともに栄華盛衰を極め、最盛期は狭い島の中に5千人を超える人が住んでいたそうです。昭和49年に閉山、無人島になったわけですが、桂川町から炭鉱の灯が消えたのも昭和48年のことでした。

現在は長崎市が所有し、軍艦島クルーズが実施されていますが、周辺の波が高く船着場が簡易なため、接岸できる確率は低いと聞きました。

案内ガイド役は、島で育った人で、故郷の姿に特別な想いがあるようでした。歴史を紹介しながら「皆さんは観光でこの島に来ましたが、果たしてここは観光地でしょうか」と問いかけた言葉が耳に残っています。

崩れ落ちた壁、骨組みが剥き出しの高層ビル、散乱しているコンクリートの塊。その有様の印象は、「廃墟」という言葉がピッタリします。「負の遺産」から脱却し再生の道筋はあるのか？ 大変気懸りなところです。

桂川町長 井上利一

町長室から

